令和８年 11 月

NO.283

FAS住まい新聞

発行責任者
㈱福地建装
北斗市中野通 324
Tel 0138-73-5558
fax 0138-73-8460

◇年末の大掃除、始めるなら 11 月から◇

今年も残すところあと２ヶ月となりました。年末が近づくと気になり始めるのが「大掃除」ではないでしょうか。

大掃除というと、年末にまとめて行うイメージがありますが、寒さが本格化する前の 11 月から少しずつ始めるのがおすすめです。

今回は、大掃除の由来や豆知識と、住まいを綺麗に保つポイントをご紹介いたします。

◇大掃除の始まりは「煤払い（すすはらい）」◇

日本の大掃除の由来は、古くから伝わる「煤払い」の年中行事にあります。昔は、カマドや囲炉裏を使っていたため、家の中に煤や煙による汚れがたくさん付着しました。そこで、１年分の煤やほこりを払い落とし、新しい年を迎える準備をしていたのです。

煤払いは、現在でも 12 月 13 日ごろに行われることが多い行事です。

単に家を綺麗にするだけでなく、お正月には年神様をお迎えするため、家の中を清める意味もあったとされています。

現代の大掃除にも、１年間の汚れを落とし、気持ちよく新年を迎えるという昔からの思いが受け継がれているのだと思います。

◇知っていましたか？ 大掃除の豆知識◇

① 大掃除は 12 月 13 日が始まりなのか

12 月 13 日は「正月事始め」と呼ばれ、お正月の準備を始める日とされてきました。神社などでは、今でもこの日に煤払いを行うところがあります。

② 大掃除は年末にまとめてしなくても大丈夫！

大掃除は一度にすべて終わらせようとすると、時間も体力も必要です。

11 月の気温や天候を見ながら、窓・換気扇・水回りなどを少しずつ進めれば、年末の負担は減らせます。

③ 新聞紙で窓ガラスを拭く方法、今でも使えるのか

新聞紙を使ってガラスを拭く昔ながらの方法があります。紙で汚れを拭き取れる一方、インクや紙の繊維が付くことも。最近の窓ガラスは特殊なコーティングが施されている場合もあります。

まず目立たない場所で試すのがおすすめです。

◇11 月におすすめ！住まいのお手入れ３選◇

① 窓・網戸のお掃除

窓や網戸は、砂ぼこりや花粉などが付着しやすい場所です。比較的暖かい日を選んで掃除しておくと、年末の負担を減らせます。北海道では、寒さが厳しくなる前に済ませておくのがおすすめです。

また、窓掃除のお掃除ついでに点検してみましょう。ガラスとサッシの間にあるゴムパッキンに汚れがたまっていないか、ひび割れや外れがないか、窓枠や窓台に水滴の跡、変色、カビなどがないかを確認してみましょう。

② 換気設備のフィルター清掃

給気口や換気設備のフィルターにほこりがたまると、空気の流れが妨げられることがあります。換気不足になると気密性の高い住宅では結露が発生するなど、様々な症状が現れます。取扱説明書を確認しながら、定期的に清掃・交換を行いましょう。綺麗な空気環境を保つためにも、忘れずに確認したいポイントです。

③ キッチン・水回りのお掃除

キッチンの油汚れや浴室の汚れは、時間が経つほど落とし難くなります。

汚れが気になったときには、こまめにお手入れしておくと、年末の大掃除がぐっと楽になります。

また、汚れによって洗剤を使い分けてみると、力任せにこする手間を減らせます。

- 油汚れ：アルカリ性洗剤が得意
- 水あか：酸性洗剤が得意
- 皮脂や軽い汚れ：中性洗剤で対応できることも

年末の大掃除は、普段なかなか確認できない住まいの状態を見直すことの出来るよい機会です。

例えば、窓まわりの黒ずみ。実は、すべてがカビというわけではありません。空気の流れに沿って、ほこりなどが付着している場合もあります。

また、窓に発生する結露は、窓の断熱性能だけでなく、室内の湿度や外気温、空気の流れなど、さまざまな条件が関係しています。

さらに、換気フィルターの汚れや、サッシの溝にたまった砂やほこりも、この機会にチェックしておきたいポイントでもあります。

大切なのは、汚れを落とすだけでなく、住まいの変化にも気づくことです。

今年の大掃除は、住まいを綺麗にしながら、冬を快適に過ごすためのお手入れもしてみませんか？

（著・研究開発部　小泉貴徳）